

県内の景気動向

建設業で全項目悪化回答増加

先行きはさらなる悪化を見込まず

1999.1

- 本調査の対象企業は県内の中小企業1000社
- 今回調査の有効回答企業数は406社
- 回答企業の業種別内訳
製造業179社・建設業50社・卸売業45社・小売業71社・サービス業61社

概況

2月の調査結果（1月末時点）によると前回調査と比較し、全産業ベースにおいて全項目において僅かながら悪化となった。

業況をみると、小売業で僅かながら改善、製造業・建設業で幾分後退となった。その他項目をみると、製造業は、売上・資金繰りで悪化の動きとなる。建設業は、売上・採算で大きくDI値を下げた。卸売業は、資金繰りで若干改善となるも、売上・採算で悪化となる。小売業は、採算で改善となるも、売上・資金繰りで悪化となる。サービス業は、売上・採算で若干の改善となる。

3カ月先の予想は、全産業ベースの総合全改善となる。

項目で当月調査結果のDI値と比較すると、全項目改善予想。各業種において先行き悪化予想となる項目はなかった。内訳は製造業の業況・売上、小売業の採算、サービス業の業況では改善予想となる。それ以外の項目では、おむね現状維持となる予想をしている。

今回の調査結果では、ここ数回の調査で改善を示していた建設業が悪化となった。特に採算で悪化回答が増加している。項目別では、売上が前回調査と比較して最も悪化幅の大きな項目となっている。特に小売業の悪化回答の増加が目立つ結果となった。

業況

製造業は「木材・木製品」でDI値を戻し改善となるも、「食料品」「鉄鋼・非鉄」「金属」「漆器」でDI値を下げ悪化となる。建設業は「土木」「建築」ともDI値を下げ悪化となる。卸売業は好調を維持してきた「青果物卸」が大きくDI値を下げる。一方、「飲食料卸」がDI値を戻し改善となった。小売業は「家電品販売」「自動車販売」で大きくDI値を戻し改善となる。サービス業は「タクシー」を除いた業種でそれぞれDI値を下げ悪化となった。

売上

製造業は「窯業・土石」でDI値を戻し改善となるも「食料品」「鉄鋼・非鉄」「金属」「プラスチック」でDI値を下げ悪化となる。建設業は「土木」「建築」とともにDI値を下げ悪化となる。卸売業は「青果物卸」「機械器具卸」で大きくDI値を下げ悪化となる。一方、「飲食料卸」がDI値を戻し改善となった。小売業は「自動車販売」でDI値を戻すも、「中小スーパー」「飲食料販売」「家電品販売」でDI値を下げ悪化となる。サービス業は「観光旅館」でDI値を下げ悪化となるもその他業種は幾分DI値を戻している。

採算

製造業は「精密機器」でDI値を戻し改善となるも、「酒造」「ニット」「金属」「漆器」でDI値を下げ悪化となる。建設業は「土木」で大きくDI値を下げ悪化、「建築」も僅かではあるがDI値を下げている。卸売業は好調を維持してきた「青果物卸」が大きくDI値を下げる。小売業は「家電品販売」「家具・建具販売」でDI値を戻し改善となる。サービス業は「タクシー」を除いた業種でそれぞれDI値を下げ悪化となった。

資金繰

製造業は「鉄鋼・非鉄」が大きくDI値を下げ悪化となったほか、「木材・木製品」「金属」「一般機械」「電気機器」で幾分DI値を下げている。建設業は「土木」でDI値を下げるも「建築」で若干の改善となっている。卸売業は「建築材料卸」で大きくDI値を戻し改善となるも、その他業種においてはDI値を下げている。小売業は「飲食料販売」「家具・建具販売」でDI値を戻し改善となるも、その他業種で幾分DI値を下げている。サービス業は「観光旅館」で大きくDI値を下げるも「運送」でDI値を戻し改善となる。